

第 223 回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会・例会の議事録

部会長 村山元理

日時 9月26日(火曜) 18:00~20:00

場所 神田 学士会館 305号

参加者 宇佐神、山本、佐藤、井上、新川、長坂、大塚、村山

欠席届 市川、望月、辻井

議題

- ・ 科研申請で商業出版への補助はないこと。出版に高額な費用が掛かることが報告。
- ・ 大塚祐一「中間報告 徳倫理とCSV（共通価値創造）－その補完性をめぐって－」  
レジュメとスライド資料を用いて丁寧にご発表された。ポーターのCSVの議論が広がっているが、徳倫理学によって、CSVを補うことが出来るのではないかという立論を立てた。元来、ロバート・ソロモンを研究されていたが、今は、アリストテレスに戻って、徳倫理学の企業倫理学への適用性を問う。企業人としての良き生を充足させる可能性が徳倫理学にあるとする。CSVの先行研究からその批判論を5つに分類する。CSVには倫理を戦略に置き換えて、効率性や生産性を善としてしまう危険性がある。そこでCSVには倫理的土台が必要である。徳倫理についてマッキンタイアの理論から、内的善・外的善に分ける。CSVの本来の意義として内的善の達成が必要。ポーターは外的善にだけ力点をおいているので、CSVを外的善の獲得のみの主眼をおくと、本来の意義が失われる。V-CMV (Virtue-based CSV) ヘシフトすべきである。共同体としての企業観が説かれる。
- ・ 多くの建設的なコメント、質問があり、若手研究者に対する多大な激励となりました。
- ・ カントの義務論との関係は？ 倫理に対するとらえ方の違い。
- ・ 西洋倫理学の視点にたっているが、日本的な伝統的価値観からの反省は？
- ・ 誠実性 (integrity) の視点から統合的に説明できないか。
- ・ さらに類型化、区別した議論の展開ができないか。
- ・ エリクソンの人格発達の視点からの問直し。
- ・ 関西経済同友会のCSVに関する議論とは？

今後の予定の確認 毎月第4月曜日 10月は第5週です。

10月30日(月) 18:00~20:00 学士会館 305号室(次回も場所が学士会館です)

井上真由美「日本商人不道徳論と高等商業学校の商業道徳教育」